

婦人科腫瘍委員会

委員長 植 木 實
副委員長 関 谷 宗 英

委員 井上 正樹, 葛谷 和夫, 工藤 尚文, 蔵本 博行, 田中 憲一
西田 敬, 長谷川和男, 長谷川壽彦 (以上10名)

婦人科腫瘍委員会の今期の主な事業内容は、1) 全国の子宮頸・体癌、卵巣癌、絨毛性疾患の登録、2) 小委員会事業、3) その他である。

今期事業推進に最も留意した点は、子宮頸・体癌、卵巣癌の登録と成績処理のコンピューター化で、それにより格段に中央化と処理の簡易化が図れた。遅れている各登録の報告に追いつくことと今までの腫瘍委員会で行ってきた患者年報、治療年報の情報公開化推進に努力したが、特に登録事業を円滑にし、報告の遅れを取りもどすことに全力を注いだ。

新登録法実務小委員会

委員長 関谷 宗英

委員 岡本 吉明, 奥田 博之, 嘉村 敏治,
葛谷 和夫, 久布白兼行, 寒江 悟,
佐藤 信二, 蓮尾 泰之, 松井 英雄

腫瘍登録施設数 子宮頸癌(226機関),
子宮体癌(225機関),
卵 巢 癌(107機関),
絨毛腫瘍(22地域; 1道20県1
地区)

1. 登録事業について

- 1) 平成10年, 11年の子宮頸癌, 子宮体癌, 卵巣癌の患者登録, 平成5年, 6年の子宮頸癌, 子宮体癌の5年予後調査を行った。
- 2) 平成10年, 11年の絨毛性疾患の地域登録を行った。

2. 小委員会事業

- 1) 新登録法実務小委員会: 登録時および成績処理のためのコンピューターソフトの作成とそれによる新しい登録方法の推進を行った。

報 告

〈子宮頸癌・体癌患者年報〉

1. No. 84, 1994年度分: 日産婦誌52巻4号 699~733頁(平成12年4月1日)
2. No. 85, 1995年度分: 日産婦誌52巻6号 835~876頁(平成12年6月1日)
3. No. 86, 1996年度分: 日産婦誌52巻9号 1400~1441頁(平成12年9月1日)
4. No. 87, 1997年度分: 日産婦誌53巻3号 683~

724頁(平成13年3月1日)

5. No. 88, 1998年度分: 日産婦誌53巻6号 999~1053頁(平成13年6月1日)

〈子宮頸癌・体癌治療年報〉

1. 第36回年報, 1979~1988年に治療した子宮頸癌の5年治療成績ならびに子宮体癌の5年治療成績: 日産婦誌53巻7号 1136~1169頁(平成13年7月1日)

〈絨毛性疾患地域登録成績〉

1. 平成6~9年度分報告: 日産婦誌52巻7号 988~1007頁(平成12年7月1日)

情報公開化推進小委員会

委員長 田中 憲一

委員 井上 正樹, 岩坂 剛, 蔵本 博行,
坂元 秀樹, 西田 正人, 長谷川和男,
長谷川壽彦, 秦 幸吉, 山内 一弘

事 業

今までの腫瘍登録成績を一般会員に広く簡易に公開するために、日本産科婦人科学会ホームページに初め一部掲載し、徐々に拡大することとした。

報告および内容

日本産科婦人科学会公式ホームページ(<http://www.jsog.or.jp/>)の会員通信欄で、現在までの子宮頸・体癌患者年報(日産婦誌52巻9号掲載分まで, 平成13年2月16日 up)が閲覧できる。ただしこの閲覧には登録とパスワードの取得が必要であり、非会員への公開には一定の制限を設けている。登録はホームページ上で行えるが、パスワードの正式取得には日本産科婦人科学会事務局からの最終許可まで1週間~10日が必要